事例No.	865
公表年度	R1
団体の属性	町村
団体名	沖縄県読谷村

事例区分	一般行政

タグ	・税財政 ・新たな政策手法の確立・活用 ・消防・防災

事例種類	間伐や路網整備等の取組

事例内容・タイトル

被圧要因の除去による公益的機能の維持増進

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年１月）

森林整備

沖縄県　読谷村（被圧要因の除去による公益的機能の維持増進）

わがまちの税活用方針

- 読谷村内にある森林の公益的機能を維持・増進させる目的で、既存の森林生態系を脅かす特定外来植物である「ツルヒヨドリ」の駆除を実施する。
- ツルヒヨドリは、南北アメリカの熱帯地域を原産地としており、他の植物や樹木に覆い広がるため、それらの植物を枯らしてしまう。また１日に10cm程度も伸びる成長の早さを持ち、刈り取られた茎が地面につくと、そこから根を出して生育するほどの生命力を持つ。
- 上記の事に加え、国庫補助事業等の対象にもならないことから、読谷村では森林環境譲与税を活用し、ツルヒヨドリの駆除を行い、森林の整備・保全に取り組む。

主な取組・概要

・村単独費で分布状況を調査した後、森林に脅威をもたらしているツルヒヨドリについて譲与税を用いて駆除を行う。他の箇所に繁茂しているツルヒヨドリは村単独費で駆除する。

事業実施後、ツルヒヨドリの完全に駆除されたか確認するためモニタリングを行う。

ツルヒヨドリ駆除委託事業（仮称）

【事業費（内譲与税額）】

4,532（1,642）千円

【実施時期】

令和元年12月～

【事業内容】

①ツルヒヨドリ分布状況調査（村単独費）

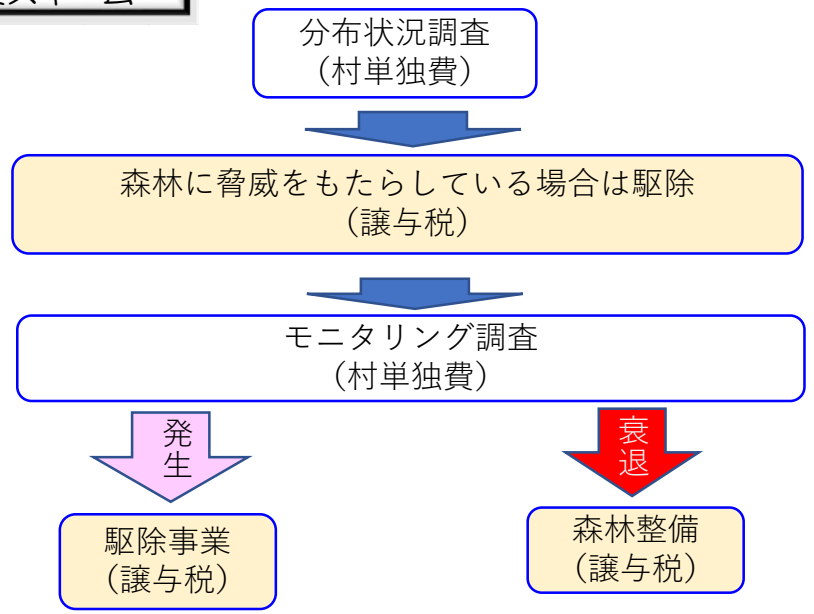
②ツルヒヨドリ駆除事業（譲与税充当）

③モニタリング調査（村単独費）



【森林に繁茂するツルヒヨドリ】

事業スキーム



※　ツルヒヨドリにより著しい森林の衰退が生じた場合は、森林整備を検討

工夫・留意している点、特徴等

・森林区域外も含め、広範囲を調査･駆除し、森林区域に再侵入することも防ぐ。

・譲与税は、森林保全に直接影響を及ぼす場合のみに充当する。